

令和元年学生F D S D（議事録）

令和2年2月19日
F D S D委員長 西田直樹

I 内容

日時：2月10日（月）11：15～12：15

（学生の負担を考え、成績交付・カルテ記入が終了したら速やかに開催します。）

場所：第2会議室

参加予定学生：(A) (B) (C) (D) (E) (F)

出席教員：青木科長 西田F D S D委員長 坪井入試広報委員長 藤村学生委員長

司会進行：青木（科長） 記録：西田（F D S D委員長）

II 議事内容（学生よりの意見）

1 青木科長より全体的な説明

- ① 本日のF D S Dの主旨についての説明
- ② 三つのポリシーについての説明
- ③ 卒業時満足度調査についての説明
- ④ 学修行動調査についての説明
- ⑤ 授業評価アンケートについての説明

2 意見交換

①作短の感想（授業・サークル活動・行事等）

○作短での2年間をふり返って

- ・「短かった。」
- ・充実していた」
- ・「楽しかった。」

（同意見の学生多数。）

○教学面でのふり返り

- ・「授業の振り分けがEFクラスが多いように思う。 時間割の偏りを感じる。」
- ・「医療・看護に近い内容の科目について不満だった。」
- ・「医療・看護に近い内容の科目では、学習内容が難しく、期末のテストも難しく感じた。」
- ・「持ち込み不可のテストが1日に集中するとつらい。」
- ・「幼稚園教諭必修の教養科目の中には、ためにならないと思える授業があった。」

- ・「学生がためにならないと思うと、その授業は私語が多くなる。」
- ・「実践的な内容の授業がためになると感じた。」
- ・「専任の先生だが、いつも 15 分間遅れて授業がはじまる。その事自体に不満は少ないが、子どもが熱を出したなど突然の休講時に学生への連絡が遅いと思う。」
(緊急の休講連絡メールは、6 時頃には出してほしい。7 時前に家を出る学生もいる。)

○学生生活

- ・「サークル活動は、あまり実態が無い。行事はクラス対抗の内容だと雰囲気が悪くなる。」
(教員が関わって指導して行く事も考えてほしい。)
- ・「行事は、クラスみんなで楽しめる、競わないものが良と思った。」
- ・「作新祭の実行委員は、みんなが休んでいる時に学校へ出て行くような気がする。当番日を決めるなど、短大全体で参加できる仕組みがほしい。」
- ・「学友会行事のあと片付けを決まった人しかやっていない。行事の中おかたづけの時間を作った方が良い。バスの時間も調整してほしい。」
- ・「製作物を学校のゴミ箱に捨てて行く人がある。思いを込めて作ったものなので、捨ててしまうのは、残念に感じた。」
- ・「作新祭を、四大と無理やり一緒にやらなければならないのか。短大と四大の担当を分ける方法も考えてほしい。短大生は、お笑いライブやバンド演奏よりも子どもが楽しめるイベントをやりたい。四大生とは学祭の目的が違っているように思う。」
- ・「学生駐車場のゴミや、カードを持っていない学生が無理な入構をしている。特に四大生がポイ捨てしたゴミや吸い殻を短大生が奉仕活動で拾うのは、どこか納得できない。学生駐車場のマナーを良くするところから取り組んでほしい。」

○予習時間が少ない事について

- ・「授業評価アンケートを見たい。公開の情報が学生に伝わっていない。」
(アンケート実施時に、結果の公開について説明した方が良い。)
- ・「授業の合間を使って勉強している事が多い。予習復習の意識は無いが、勉強はやっている。アンケートで予習時間を問われる時、家の机に向かって勉強しているイメージで答えていた。ピアノの練習を予習だとは思っていたかった。」
(アンケートに反映できていない理由が判明している。)
- ・「次の授業の内容を知らせてもらえば、やる気のある学生はテキストを読むなど予習をすると思う。学生がシラバスを読んでいない事にも、もちろん問題はあるのだが。」
- ・「予習について、教科によってバラツキがある。」

② 2年間の授業や実習を終えて、これから更に学びを深めて行きたい事、もっと学んでおけば良かった事。

○もっと学びたいこと

・「作短はピアノが厳しい事は入学前に知っていた。しかし、実習に出て作新の方はしっかりしてますねと言われると。それは良い事だと思う。

・「卒業して保育現場にできれば、もっと学んでおきたい事が具体的にわかって来ると思う。」

・「同じ意見です。」

(参加した学生全員が、リカレント教育を受けたいとの希望は持っていた。ただし、1～2日程度の短期実施を希望していた。)

③ 保育者として働いて行くために役立つ授業は、どのようなものか。

・「実践的な授業が役立つ。」

・「何人かグループで関わる授業が実践につながる。」

・「わいわいひろばでの実践経験（特に障がいを持った子ども）ができれば良い。」

・「障害児と接する機会を実習の前に作ってほしい。」

(以上)